

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

令和6年度病虫害発生予察注意報第4号について

令和6年度病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

令和6年度病虫害発生予察注意報第4号

茶の炭疽病の発生が多くなっています。防除対策の徹底を図りましょう。

- 1 病虫害名 : 炭疽病
- 2 作物名 : 茶
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多

5 注意報の根拠

- 1) 6月中旬の巡回調査の結果、炭疽病の発生面積率は85.7%（平年36.6%）で平年比多、発生程度（㎡当たりの病葉数）は10.8葉（平年3.8葉）で平年比やや多であった（令和6年度病虫害防除情報第6号 7月1日付け発表 参照）。
- 2) その後も発生は増加傾向にあり、7月中旬の巡回調査の結果、発生面積率は83.3%（平年53.6%）、発生程度（㎡当たりの病葉数）は26.7葉（平年8.6葉）でいずれも平年比多であった（図1、2）。

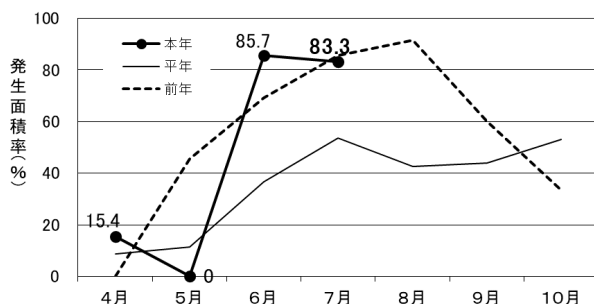


図1 発生面積率の推移

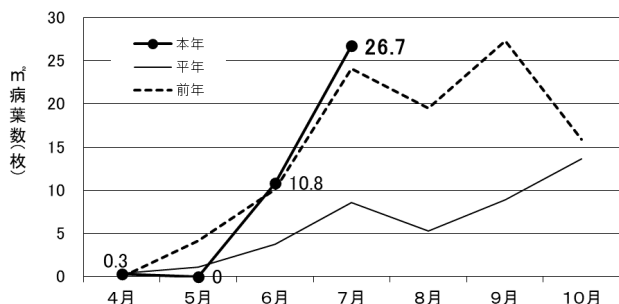


図2 発病度の推移

6 防除上の注意

- 1) 本病は樹上に残った発病葉が次茶期の伝染源となるため、前茶期に発生が多かった茶園では発生が多くなる傾向にある。また、病原菌は雨によって飛散するため、降雨が多い場合は注意が必要である。
- 2) 本病は開葉して間もない柔らかい新葉に感染するので、秋芽の萌芽期～開葉期に重点的に防除する。
- 3) 品種により本病への抵抗性が異なるため、本病に弱い品種（「やぶきた」、「おくみどり」、「さやまかおり」等）は特に注意する。
- 4) 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一薬剤の連用は避ける。

7 その他

6月1日から8月31日の3か月間は、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベルの登録内容の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
(病虫害防除・肥料検査センター) 阿萬、久野

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

HP: https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

